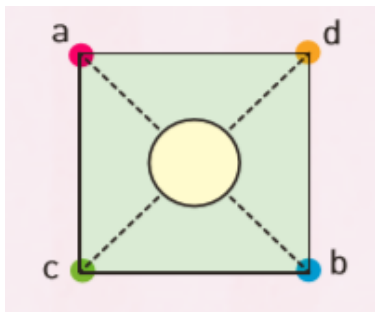


ふろしき結びの活用術

最近のご家庭でふろしきを使うことがなくなり、ふろしき自体お家にある方が少ないかもしれません。お使いになるのはふろしきではなく大きめのハンカチやバンダナ等お家にあるもので構いません。

基本の結び方をしっかり覚え、バッグの中にあるハンカチ等がお役に立てますように。

* 基本のバッグの結び方 *



bとdを真結びし、残りのaとcも真結びする。

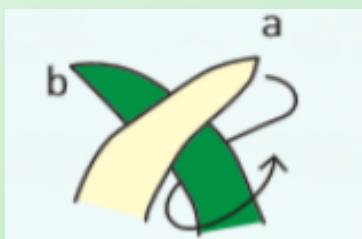


写真のようになります

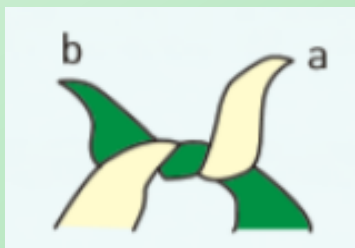


バランスをみて結び目の深さを変えれば、大きささまざまなものに対応できます。
注) 結び目が浅すぎると危険です。この状態でエコバッグとして活用できます。

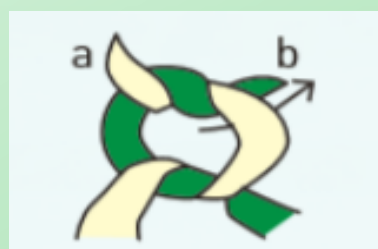
真結び



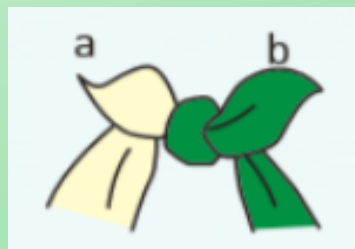
① aを上にもbを下にもふろしきの隅を交差させる。



② aをbに絡ませ手前に回す。



③ bをaに上から絡ませ、aを左に、bを右に引っ張る。

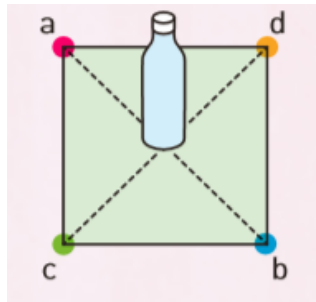


④ 完成。

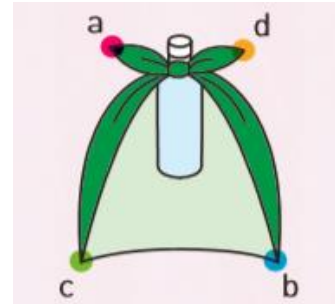
* その他のアレンジ紹介 *

次にすぐ使えるアレンジを3つ紹介します。形状によって包み方を変えているだけで結び方は同じです。

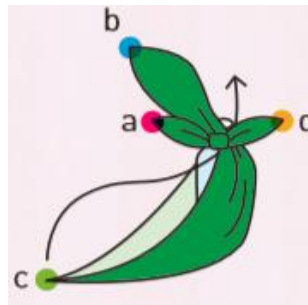
ペットボトル包み



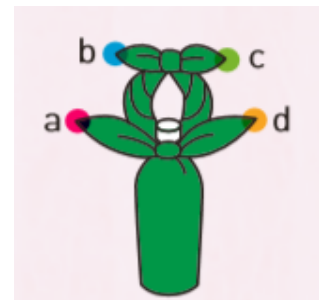
①ふろしきの対角線上の中央にペットボトルを立てる。



②aとdをボトルの口元で真結びする。



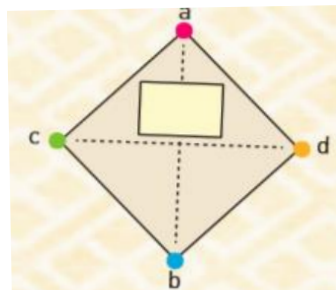
③結び目の下からbとcを通し引き上げる。



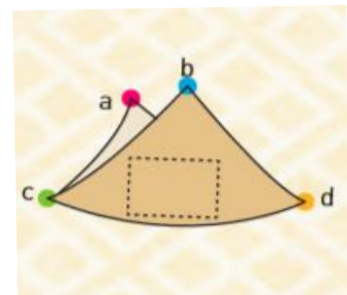
④ペットボトルの口の上でcとdをねじって真結びし、持ち手を作って完成。

～:☆:～:～:☆:～:～:☆:～:～:☆:～:～:☆:～:～:☆:～:～:☆:～:～:☆:～:～:☆:～

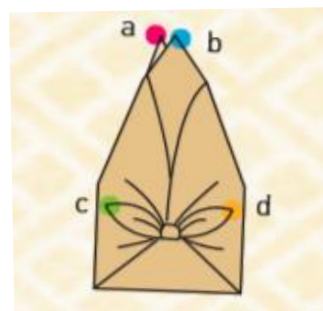
ショルダーバッグ



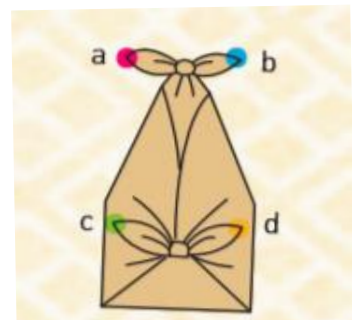
①ふろしきの対角線に沿って包むものの下辺を揃えて置く。



②bをaにかぶせる。

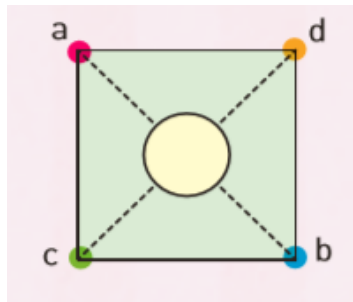


③cとdを中央に持っていき、しっかりと真結びする。

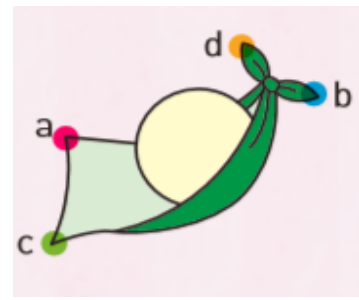


④上で重なったaとbを真結びする。

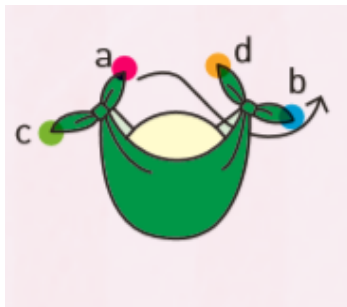
スイカ包み



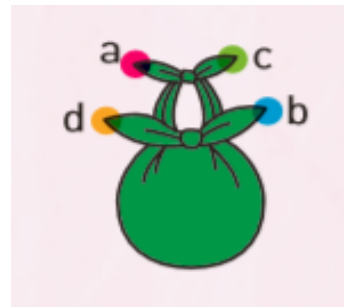
①ふろしきの対角線上の中央に球体のものを置く。



②bとdを真結びし、残りのaとcも真結びする。(このとき結び目の下に空間をつくること。)



③左右の結び目ができたら、どちらか一方の結び目の空間に下から通す。



④完成。

いかがでしたでしょうか。紹介したものは1種類の結び方で簡単にできるものばかりです。結び方さえ覚えてしまえばアレンジして色々なものに対応できます。

こちらでは紹介しきれなかったものもありますのでご興味のある方はまた講座等が開催された際にぜひお越しください。

ふろしきはないからと拒否せず、まず手にとって結んでみてください。ふとした発見があるかもしれません。素敵なふろしきライフを！